



生徒の皆さんへ

朝夕が少し肌寒い季節になってきました。いよいよ令和3年も終わりを迎える時期になります。今年は皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。年の瀬に一年を振り返りながら、来年もよい一年になることを心から願っています。

日本の高校生も黙っていない

## COP26で気候変動は解決できるのか

国連気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）が、先月、イギリスで開催された。懸念される地球温暖化などの気候変動に対処するために、世界的なCO<sub>2</sub>排出削減の目標や手段等について、国連加盟国の代表が集まり協議する場である。その結果、13日に成果文書「グラスゴー気候合意」を採択して閉幕した。

同合意では、2011年の世界平均気温の上昇を産業革命前に比べて1.5度以内に抑える努力を追求することが盛り込まれた。しかし、最大争点となった石炭火力発電では、合意文書案の段階的廃止（phase-out）の表現に対し、インド、中国が反対し、段階的に削減（phase-down）と表現を弱めるかたちでの合意となった。COP26議長は「気温上昇1.5度以内の目標を守ったと自信を持って言えるが、私たちが約束を守り、迅速な行動に移さなければならない」と今後の各国の行動の重要性を強調した。

果たして、これで気候変動への不安は全て解消されるのだろうか。

いや、解消されない、任せておけないと立ち上がった日本の高校生たちがいる。それが、政府などに気候変動対策強化を求める全国的な若者の運動「Fridays For Future Japan 未来のための金曜日」のメンバーである。この活動は、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさん(18)が15歳の時、対策強化を求めて毎週金曜日に学校を休んで座り込みを始めたのをきっかけに世界中に広まった。

その一人である東京都立武蔵高校2年福代美乃里さんは「これ以上気候変動が先延ばしにされたら取り返しがつかなくなる。今年が最後のチャンスだと思う。」とCOP26の現地に行くことを決めた。渡航費用は海外財団から支援を受けるが、コロナの影響で隔離も含めて約1ヶ月が学校を休まないといけない。それでも、気候変動を止めることの方が緊急の課題だと考え、普通の高校生もここまでして本気で対策を求めていることを日本政府にも知ってほしいと強調した。

私たちは同年代の高校生が、気候変動を他人事とせず真摯に向き合い取り組んでいる事実を知っておくべきである。そして、かけがえのない地球は、今を生きる人間だけのものではない。未来に向けて、私たちはどのように考え、何をなすべきなのかを真剣に考える時期に来ている。



欧州での気候ストライキの様子

読書への誘い（本校図書室に置いてある本）

## 『 グレタたったひとりのストライキ 』

マレーナ&ベアタ・エルンマン

グレタ&スヴァンテ・トゥーンベリ

著 羽根 由 訳 海と月社

この本を読めば、グレタさんが活動する動機が単なる自己顕示欲などではないことが、よくわかる一冊です。彼女自身が、拒食症、うつ、アスペルガー症候群、選択制緘黙症を抱えながらも、自分が立ち上がるしかないとは決断した様子を、グレタさんを含めて家族が赤裸々に語っています。

グレタさんには、私たちほかの人間が見ようとしなないものがはっきりと見えるようです。気候危機は、今や世界的な緊急事態となっています。彼女の語る言葉は素晴らしく、かつ、難しいことを言っているのではありません。

この一冊は、私たち自身が立ち止まって、環境のことを考える契機となる本です。ぜひとも、手に取って読んでほしいと思います。



### 校長室からの挑戦

次の問題が分かった生徒は、朝の声かけをしている  
校長に遠慮無く、答えを聞かせてください！クイズ！

冷蔵庫に冷えた卵が2個ある。そのうち1個は生卵で、もう1個は固ゆで卵である。強いライトがあれば、液体の生卵の方が光りを透過するので、どちらが生卵か調べることができる。だが、そんなに都合良く、手元にライトはない。

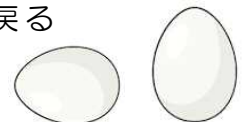
さあ、どうすれば卵を割らずに、どちらが固ゆで卵であるかを見分けられるだろうか？ 賢いあなたならすぐに分かるはず……

【前回のクイズ】

狼、ヤギ、キャベツを1つずつ小舟で運ぶにはどうしてやるか？

- ①狼とキャベツを残してヤギを運ぶ ②狼を運んでヤギを連れて戻る  
③ヤギを残してキャベツを運ぶ ④ヤギを運ぶ

※別解：②でキャベツ③で狼を運ぶも正解！



保護者の皆様へ

感染症第五波が落ち着いてきており、コロナ禍においても明るい兆しが見えてきました。ただし、第六波の到来や南アフリカで検出された変異株「オミクロン」の感染確認など、今後も感染情報を注視するとともに、対策も気が抜けない状況にあります。今後も、引き続き御家庭でも基本的な感染症対策をお願い致します。